

## 【岡山県立玉野高等学校グランドデザイン（スクールポリシー）】

《玉野高校に期待される社会的役割》 <b>【スクールミッション】</b>	幅広い知識と教養を培う普通科高校として、地域等との連携や主体的な学びの支援により、一人一人の個性の伸長を図り、意欲や行動力、社会性等を高める教育活動を通して、社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。
《求める生徒像》 <b>【アドミッション・ポリシー】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢の実現に向けて挑戦し続ける意欲のある生徒</li> <li>○ 仲間を大切に、温かい言葉がかけられる生徒</li> <li>○ 社会に貢献できるようになりたいと考え、積極的に行動する生徒</li> <li>○ コミュニケーション能力やアウトプット力を高めたい生徒</li> <li>○ 学びに向かう意欲のある生徒</li> <li>○ 生徒会活動、部活動、スポーツ・科学研究の分野に熱心に取り組んだ経験を持ち、今後その経験を生かしていこうとする意欲のある生徒</li> </ul>

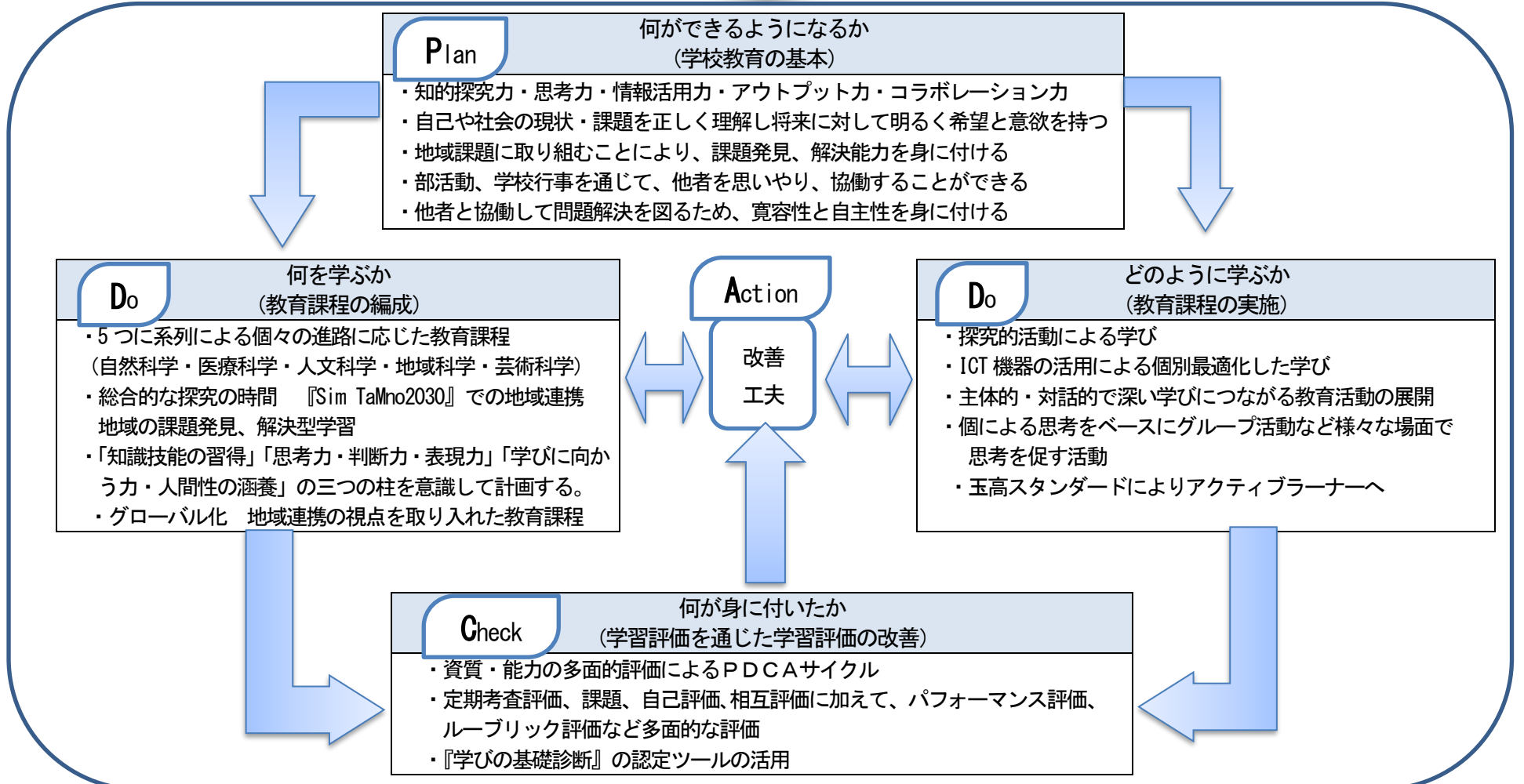
生徒の実態	内外の環境分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で明るく、授業、学校行事や部活動に熱心に取り組んでいる。</li> <li>・基本的な生活習慣が確立しており、落ち着いた学校生活を送っている。</li> <li>・自主的に学ぼうとする力が弱く、応用力、実践力が不足している。</li> </ul>	(S) 1学年4クラス規模のため、生徒と先生のコミュニケーションがとれている。 (W) 穏やかでおとなしい生徒が多いので主体的な行動を促す取り組みが必要である。 (O) 地域に卒業生が多数おり、応援する機運は強い ボランティアニーズがある。 (T) 地域の人口減少が著しく、競合する学校が多くあるため、定員確保が厳しい。

《生きる力を資質・能力として具体化するための3つの柱》

①知識・技能    ②思考力・判断力・表現力等    ③学びに向かう力・人間性等

学校教育目標	(1) 健やかな心身と自主自律の精神を持った民主的な社会人を育成する。 (2) 未知に挑戦する意欲や困難に立ち向かう勇気を持った行動的人材を育成する。 (3) 我が国と外国の文化を深く理解し、共生の精神を持ったグローバル人材を育成する。
《育てたい生徒像》 <b>【グラデュエーション・ポリシー】</b>	「熱く夢を語り 温かく友と交わり いきいきと社会に貢献し活躍する人材」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未知の社会を生き抜くため、主体的な学びを身に付け、意欲的に行動できる生徒</li> <li>○ 豊かな文化・伝統を尊重する心や、コミュニケーション能力を備え、社会に貢献する自覚と誇りを持った生徒</li> <li>○ 一生涯学びを深めるため、「知的探究力」「思考力」「情報活用力」「アウトプット力」「コラボレーション力」を身に付けた生徒</li> </ul>
令和4年度 重点目標	(1) 「熱く 温かく いきいきと」の実践 ① 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上 ② 主体的行動による、自己研鑽 (2) 学びの質の向上（認知能力と非認知能力） ① ICTの積極的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に取り組み、生徒の学力向上を図る。 ② 探究型学びや体験活動、多面的な評価を通して、学習意欲や地域貢献への意欲向上を図る。 (3) キャリア教育の推進と地域等との連携 ① 3年間を見通したキャリア教育（職業ガイダンス、インターンシップ） ② Sim TaMano2030 の取組の推進（地域密着型の探究活動） ③ 組織的な広報活動による開かれた学校づくり

目標実現に向けた取組の方針  
**【カリキュラム・ポリシー】**



取組を支える	取組を支える
実施するために何が必要か (指導体制の充実、必要な支援、家庭・地域との連携・協力)	生徒にどのように支援するか (どのような配慮が必要か)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントによる教科横断的指導体制の構築</li> <li>・コミュニティスクールによる地域との連携・協力を構築する</li> <li>・チーム学校体制の充実</li> <li>・ステークホルダー（中学生、保護者、地域社会等）に向けての広報活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人担任を中心とした、きめ細やかな面接や充実した相談体制</li> <li>・学年団会議や課長・主任連絡会、職員会議等での情報共有</li> <li>・教育相談体制、生徒面談、教科カウンセリングの充実 専門機関との連携</li> </ul>